



令和6年3月25日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証スタンダード・コード番号 2796)
問合せ先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03—3362—7130)

令和6年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和5年12月25日に公表しました令和6年5月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

令和6年5月期通期連結業績予想数値の修正（令和5年6月1日～令和6年5月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 53,546	百万円 1,477	百万円 1,423	百万円 449	円 銭 41.99
今回修正予想（B）	54,086	1,056	978	168	16.01
増減額（B－A）	540	△421	△445	△281	
増減率（%）	1.0%	△28.5%	△31.2%	△62.5%	
（ご参考）前期実績 （令和5年5月期）	52,030	1,438	1,431	333	35.45

2. 修正の理由

現在、当社グループが取り組んでいる中期経営計画の目的は“日本の人口の3分の1が65歳以上の高齢者になる2030年に向け持続的な成長基盤を築くこと”であり、その重点施策のひとつが「調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化」であります。また当社のコア事業である調剤薬局業界は、医療費抑制等の社会的要請を背景に一層の経営努力が求められる事業環境にあり、特に令和6年4月以降には薬価及び調剤報酬改定も控えております。このような背景のもと、当該改定後の次年度以降も成長を継続させていくとともに、更なる企業価値向上を図っていくためには、規模の拡大及び利益率の改善が重要な課題であると認識しておりました。

当第3四半期連結累計期間における調剤薬局事業では、調剤売上高及び応需処方せん枚数は当初計画を上回る水準となっております。そして機会に恵まれたこともあり、従前と比較して、より規模の大きい会社も含めたM&Aを実施することができました。これは前述の課題対処に向けた前進であります。一方でM&Aに係る支払手数料は当初の計画を上回ることとなり、販売費及び一般管理費を2億円強押し上げる要因となりました。また仕入環境も当初想定より変動しており、仕入原価が2億円弱増加し売上総利益に影響しました。これらを主な要因として営業利益は計画を4億円強下回る水準となり、つれて経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益も計画を下回ることが見込まれます。

以上から、これらが前回の業績予想数値から変動することとなり、令和6年5月期通期連結業績予想数値を上記のとおり修正することといたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上